

平成 27 年 1 月 11 日 主日礼拝



自然哲学者アイザック・ニュートン、探検家であり宣教師デイビッド・リビングストン、そして小説家チャールズ・ディケンズなど著名人が眠る英国・ウェストミンスター寺院(教会)。一度は訪れたい場所ですが、その地下室の碑文にこう記されているそうです。

何の束縛もない若かりし頃、想像は果てしなく広がり、私は世界を変えることを夢見ていた。ところが年を重ねて賢くなり、世界は簡単に変わらないことに気づいた。そこで目指すものをもう少し近いものにして、自分の国から始めることにしたが、やはり国も変わらなかった。老年期に入り、私の願いは悲痛なものに変わった。自分の国がだめなら、最も近い家族を変えようと思ったが、これにも至らなかったのだ。さて、私はいま死の床にいる。そして初めて分かったのだ。変えなければならないのは「自分自身」だったと。自分が変われば、家族が変わり、やがて社会が変わり、国をよくすることもできただろう。世界を変えることだってできたかもしれない。もし自分自身を変えることができれば…

変革は、鏡の前にいる自分自身から！年の初めでもありますから、躊躇せず、何かに挑戦してゆきたいと願います。『あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。(伝道の書12の1)』とありますが、何歳であっても一番若い日は「今日」という日。想像力と創造力を働かせ、たった一度の人生、自由に大胆に、主の栄光のために生きてゆきたいと思います(イザヤ43の7)。

近年、ベネッセが発表した小学生の将来の夢ランキング。男の子は上から順番に、①サッカー選手②学者・研究者③野球選手④医師⑤エンジニア⑥建築士⑦クリエイター・プログラマー⑦警察官⑨料理人⑩鉄道運転士だそうです。女の子は、①パティシエ②教員③医師④芸能人⑤保育士⑥花屋⑦ピアノの先生⑧看護師⑨薬剤師⑩料理人…。さ の夢は何でしたか 私の小学生の頃の夢は「世界にイエスを伝える 師先生！」。その夢は 分 いました。さあ、これから「世界に」伝えるために、今年も一 します！

[聖餐式]